

2021年度  
**事務局だより**

**NO.4** (通算 NO '12)

2021・4・25

一般社団法人

**示現会**

- 示現会展開催
- 数字で見る第74回展

裏面 ○<特集> 現寿賞表彰と受賞者の言葉  
○<特集> 画集について

示現会展が開催できました。美術館使用に際して条件が厳しく、また、係の人数を絞っての作業でしたので、一部の方々に過大な負担をかけることになりました。展覧会が終了した今、改めて開催できた喜びを皆様とともに分かち合いたいと思います。ありがとうございました。

多くの方のご協力とご支援の中、会員の皆様のご力で第74回示現会展が開催され、4月12日無事終了いたしました。コロナ禍の状況でしたので、素晴らしい作品がそろったこの展覧会を会員の皆様はじめ、多くの方々に観覧いただきたいとは思いましたが、もし感染者が出たらと思うと来場は無理しないで、という矛盾した中での開催でもありました。例年2万人前後の来場者があるのですが、今回は半数に満たない人数になりました。しかし、予想以上の方々に来場いただきました。

# 示現会展終了



会場に掲示された「74回展に開催に際して」の言葉です。改めて紹介します。(井上展覧会責任者執筆)

今まで私たちが、会場いっぱいの方々に、示現会展をご観覧いただけるのを願ってまいりました。しかし新型コロナウイルスで昨年春の七十三回展は中止、そしてその後の一年間すべての会の活動を停止してきました。その間、展覧会に出品・展示するという機会を失うことは、絵を描くモチベーションが低下してしまうことに気が付きました。発表の場がないということが、絵を描くという情熱をもそいでしまうのです。そして二年ぶり、コロナ禍ではありますが万全の対策をして、この美術館に精魂込めた作品を手に手に戻ってまいりました。コロナのせいで寂しい静かな会場かもしれませんが、でもこの静かな会場に、コロナ禍にも関わらず来ていただいた方々に会えるのを静かに待っている一枚の絵があるはず。その絵に静かに話しかけてやってください。二年間観ていただけのを待っていた一枚ですから。

七十三回展中止、そして七十四回展開催に際して

本日は、このコロナ禍のなか、都心の美術館まで足を運んでいただきありがとうございます。例年の示現会の展覧会場と違い、多分人があまりいない静かな会場でしょう。

広い会場には途切れることなく鑑賞者が訪れました。



## 数字で見る示現会展

総展示数 801点  
一般入選者 180名  
初出品者 87名

総入場者数 8767人  
(72回展 19084人)

1日平均入場者数 約731人  
一日の最多入場者 910人  
(11日・日曜日)

絵葉書売り上げ枚数 2414枚  
(72回展 5877枚)

### 50号以下の作品

50号以下の作品は会員以下で82点ありました。どの作品も特徴ある、力の入った作品でした。

\*50号以下の作品大歓迎です。無理のない号数で出品ください

画集3ページ  
理事長の挨拶文は同封の挨拶文と差し替えてください

## 申し訳ありません

画集、目録、リーフレットに誤りがありました

画集・・・理事長の挨拶文  
目録・・・作品の展示室の間違い  
現寿賞の未記載

リーフレット・・・研究会の日程

\*巡回展で配布されるリーフレットは研究会の日程を変更してあります。

この事務局だより裏面の日程を確認ください。

今回の入場者は、20歳代前後の方が数多くみられました。学生証で入館した方は500人近くになりました。ホームページを見てきた方には入場無料にいたしました。期間の後半、4月7日よりの6日間で38名が来場、ホームページの大切さも改めて確認しました。



# 特集1

# 現寿賞

## <会員>

長田泰助  
渡邊英麿  
後藤利夫  
関根弘子  
隈丸千代ノ  
三輪照子  
石井邦光  
赤木満智子  
鈴木 實  
田中 信  
中村 弘  
持林英二郎

吉田正治  
大林儀和  
長谷川 恵  
小菅智恵子  
中川澄子  
宇賀治徹男  
小玉誠司  
篠原祐輔  
中村幸治郎  
田中七三子  
三輪喬一郎  
周 天竜

## <準会員>

鈴木仁郎  
浅見博三  
高味松子  
佐藤恒次  
伊佐治則子  
岩瀬順三  
小野田誠一  
中島久輔  
数土清治

## <会友>

赤木唯介  
小池明  
高山茂雄  
松本治司  
平野眞佐子  
河越幸子  
鍋谷建雄  
丸山 毅

合計41名

多くの方々から、「素晴らしい作品ですね。」と称賛の声をいただきました。

41点がそれぞれ経験豊かな人生そのものがあふれる、力の入った作品で会場を一段と引き立たせました。

多くの皆様の前で拍手を送りたかったのですが、このような時期ですので、今回の表彰式は代表1名の出席をお願いしました。次回第75回展の懇親会で改めてご紹介できるように計画を立てています。



長田泰助 しあわせ

住地域で長寿祝いをいただくことはありませんでしたが、会より表彰するとの通知を受けて驚きました。好きな絵を続けてきたことへのご褒美と思い誠に嬉しく、感謝申し上げます。

常々より「描け」と背中を押してくれる家族に囲まれている幸せ。(あっ、これかな、長寿の秘訣！?) 終わりはまだ先と信じ、今後も精進いたします。皆様ご指導お願いいたします。



渡邊英麿 雨のまちかど

雨の日の夕方に近い駅前の交差点を歩いていた時、青信号で前からブルーのゴミ回収車が入ってきました。偶然に画面の中ほどに赤いバイクの郵便配達車が加わり、またと

ないチャンスと喜んでいたら、右の画面に子供の下校時に母親が雨傘を持って迎えに行き、帰宅途中です。赤信号で子供に何か言い聞かせている愛情の様子を画面に表現することができました。

毎日の様に絵を描いているおかげで、人生の楽しみが有効に過ごすことができます。感謝！ 示現会の益々の発展と、皆様のコロナの折、健康とご多幸をお祈りします

現寿賞受賞者を代表して、東京在住の持林英二郎さんが表彰状と記念品を受け取りました。持林さんは「事務局だより昨年 NO.7」で紹介しましたが、今回の出品は71回目になります。持林さんは足取りも軽く登壇し成田理事長より表彰状を受け取りました。そのあと、その表彰状を会場に向けて提示、大きな拍手を受けました。

今回紹介した、長田さん、渡邊さんは97歳になります。力強い作品を発表いたしました。今回表彰された、41人の方々も画集で紹介しています。絵を描く私たちの目標です。41人の方に追いつくよう皆さんがんばりましょう。



## 画集発行

1冊 2,000円

皆様のお手元に画集は届きましたか。

お知らせしておりましたように、今回の画集は展覧会会場に来られない皆様にも、第74回展がどのように準備され、どのような作品が受賞され、どのような作品が展示されたのかが、わかっていたら、示現会展を楽しんでいただく企画として発行いたしました。

なお、この画集は、会に所属する全員にお送りいたしました。追加購入希望されます方は、1冊2000円で販売いたします。

購入については、支部のある方は支部に連絡ください。

この売り上げは、支部の収入となります。

ぜひ、多くの方に購入いただければと思います。

支部のない方は本部事務所まで連絡をお願いします。

## 研究会について

### ★開催期日

6月 6日[日] (リモート)

7月 18日[日] (リモート)

8月 15日[日] (リモート)

9月 19日[日] (リモート)

\* リモート研究会は写真の受付が早めになっています。注意ください

\* 各種の展覧会などの出品に限らず、どなたでも自由な作品で参加できます。

\* 日展に出品を考えている方は6月及び9月の研究会に出来るだけ参加ください。

\* 6月の研究会は主に構図を見ます。下絵歓迎です。

\* 研究会では、第2回奨励展に出品される作品も受け付けます。

\* 9月の研究会はコロナ感染の状況を見て、実施方法を変更することもあります。

第74回展の役員、支部長、委員、受賞作品はホームページでご覧いただけます。

示現会ホームページ

